

## ゲッリーノ・トラモンティ展

イタリア・ファエンツァが育んだ色の魔術師

2012年4月7日～5月27日

イタリア・ファエンツァ出身の芸術家、ゲッリーノ・トラモンティ（1915-1992）の本格的な回顧展を日本で初めて開催します。

色彩の豊かなマヨリカ焼の産地として知られるファエンツァに生まれたトラモンティは、陶芸学校で陶技の基礎を学びつつ、彫刻にも関心を寄せて、はじめは彫刻家として評価を得ていきます。ほどなくして絵画にも興味を持ち、その後は、陶芸、彫刻、絵画の技法をさまざまに応用して活動の場を広げていきました。

そのトラモンティが生み出した作品は、彫刻、陶芸、絵画と多岐にわたります。なかでも、マヨリカ焼の技法を駆使して作り出された色鮮やかな額皿や、彫刻的な量感のあるフォルムに結晶が浮き出る釉薬を施した器物、そして、色彩と厚手のガラス釉を組み合わせた陶盤などは、トラモンティ独自の様式美を見て取ることができます。

もう一つの活動を示す絵画は、黒色で縁取りされた独特の表現方法を取り入れて、身近なモチーフを描きながらも、陶芸作品に共通する詩的な雰囲気を感じさせてくれます。

本展では、初期から最晩年までの活動の軌跡を、約150点の作品でたどりながら、一作家の多彩な創造の全貌に迫ります。

### ☆次回コンサートのご案内☆

「次世代を担う音楽家たち」

5月5日（土・祝） 14:00～（要申込み）

「六甲オルゴールミュージアム所蔵のオルゴールによるコンサート」

5月13日（日） 11:00～、13:00～、14:00～（申込み不要）

OTANI MEMORIAL ART MUSEUM, NISHINOMIYA CITY

## E VIVA!! L'OPERA



2012年 4月15日 日  
13:45 開場 / 14:00 開演

西宮市大谷記念美術館 [講堂]

兵庫県西宮市中浜町 4-38

Tel.0798-33-0164



阿野 康子

Ano Yasuko

ソプラノ

相愛大学音楽学部声楽科卒業。オペラでは「アメリア 舞踏会へ行く」のアメリア、「フィガロの結婚」の伯爵夫人、「ジャンニ・スキッキ」のラウレッタ役等数々の役を演じる。

トリノ、トリエステにて、コンサートに出演。イタリア声楽コンクールソプラノ金賞受賞。日本クラシック音楽コンクール西日本大会優秀賞受賞。コンコロソ・ムジカアルテ金賞受賞。リサイタル開催。日本イタリア協会会員。



喜多 美幸

Kita Miyuki

ソプラノ

大阪音楽大学声楽学科卒業。卒業演奏会に選出。コンコロソ・ムジカアルテ金賞。チェコ共和国・NHK主催による、チェコ音楽コンクール第1位、優勝。中国音楽コンクール

銀賞（声楽部門・最高位）。兵庫県教育委員会賞受賞。イタリアのテアトロ・オリンピコにて「世界遺産国際フェスティバル」に出演。M.グラツィアーニ氏、L.グラッシ氏と共演。渡邊弓子氏、M.レアーレ氏、J.シュバチェック氏各氏に師事。日本イタリア協会会員。



原 拓也

Hara Takuya

テノール

島根大学卒業。松江市のオペラグループ燦によるオペラ公演、日伊交歓ガーラコンサート、中川牧三先生一周忌追悼特別記念コンサート、高台寺音楽祭、イタリアのテアトロ・

オリンピコでの「世界遺産国際フェスティバル」、「第九」などの演奏会に出演。第35回イタリア声楽コンコロソ金賞受賞。第1回コンコロソ・ムジカアルテ特別賞受賞。三原重行、M.グラツィアーニ、M.レアーレ氏に師事。日本イタリア協会会員。



城 宏憲

Jo Hironori

テノール

岐阜県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞受賞。新国立劇場オペラ研修所第10期修了。平成22年度文化庁新進芸術家海外研修制度

にてイタリア（ジェノヴァ）へ留学し、アルベルト・クビード氏、黒田安紀子女史のもとで研鑽を積む。第36回イタリア声楽コンコロソ、第2回マダム・パタフライ国際コンクール in 長崎入選。第42回イタリア声楽コンコロソ「シエナ大賞」受賞。日本イタリア協会会員。



福田 和子

Fukuda Kazuko

ピアノ伴奏

大阪教育大学特設音楽課程ピアノ科卒業。関西二期会、堺シティオペラ、各種演奏会で伴奏ピアニストとして活躍。ピアノを故・小柳芳子、山田康子両氏に師事。コンチェルトで関西フィルハーモニーと共演。第

5回、第14回摂津音楽祭伴奏賞、第1回エルピス声楽コンクール優秀伴奏賞を受賞。



中川 くにこ

Nakagawa Kuniko

トーク&案内

大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。ポローニャ国立音楽院留学。1982年マリオ・デル＝モナコ国際コンクール、マテリアル大賞を受賞。オペラや数多くのコンサート、国際

コンクールの審査等で国際的な活動を続けている。大阪芸術大学で教鞭をとった後イタリアに活動拠点を移しポローニャ国立音楽院においてイタリア国立機関の音楽教育を研究。日本やイタリアで一流のアーティストと共演する演奏活動と並行して世界有数の国際コンクールの運営や審査にも早くから携わり、イタリアやアメリカの名門コンクールのオブザーバーを1986年から世界最年少でつとめる。2008年より日本イタリア協会理事長。

PROGRAM

第1部

- 1 「リゴレット」より、〈あれかこれか〉/ヴェルディ  
城 宏憲
- 2 「つばめ」より、〈ドレッタの夢〉/プッチーニ  
阿野 康子
- 3 「マノン・レスコー」より  
〈なんと素晴らしい美人〉/プッチーニ  
原 拓也
- 4 「アドリアーナ・ルクヴール」より  
〈私は芸術の下僕〉/チレア  
喜多 美幸
- 5 「西部の娘」より  
〈やがて来る自由の日〉/プッチーニ  
城 宏憲
- 6 「ロミオとジュリエット」より  
〈私は夢に生きたい〉/グノー  
阿野 康子
- 7 「ル・シッド」より  
〈おお、最高の裁き主よ〉/マスネ  
原 拓也
- 8 「ラ・ボエーム」より  
〈私の名前はミミ〉/プッチーニ  
喜多 美幸
- 9 「ラ・ボエーム」より  
〈愛らしい乙女よ〉/プッチーニ  
喜多 美幸、原 拓也

第2部

- 1 「ラ・ボエーム」より、〈私が街を歩けば〉/プッチーニ  
阿野 康子
- 2 「マクベス」より  
〈ああ、父の手は〉/ヴェルディ  
城 宏憲
- 3 「蝶々夫人」より、〈ある晴れた日に〉/プッチーニ  
喜多 美幸
- 4 「カルメン」より、〈花の歌〉/ビゼー  
原 拓也
- 5 「ジャンニ・スキッキ」より  
〈私のお父様〉/プッチーニ  
阿野 康子
- 6 「フェドーラ」より  
〈愛さずにはいられぬこの想い〉/ジョルダンノ  
城 宏憲
- 7 オーソーレミオ/エドゥアルド・ディ・カプア  
原 拓也、城 宏憲
- 8 忘れな草/エルネスト・デ・クルティス  
阿野 康子、喜多 美幸、原 拓也、城 宏憲
- 9 「椿姫」より、〈乾杯の歌〉/ヴェルディ  
阿野 康子、喜多 美幸、原 拓也、城 宏憲